

一般曹候補生制度とは

各部隊の中核となる陸・海・空曹自衛官を養成する制度です。18歳以上27歳未満と、応募資格年齢を広く取っており、高校新卒者から社会人経験者まで多様な経験を持った人材が一般曹候補生として入隊することが可能です。希望により自衛隊のさまざまな分野の中堅の曹として、技能を高め、また、目標を定めステップアップしていくことができます。

曹の役割

曹の役割については、小部隊のリーダーおよび専門分野に精通した技能を有するものであるとともに、士を直接指導し、幹部を補佐する部隊の基幹要員として位置づけられています。その能力は、部隊の精強性等に大きな影響を与えます。最近の自衛隊の任務の多様化、装備の高度化に伴い、より高い専門性が要求されることから、曹には高い任務遂行能力が要求されます。「一般曹候補生」として十分な教育訓練と経験を積んだ曹は、自衛隊の中核としての活躍が期待されています。

「一般曹候補生」の入隊から3曹になるまでの歩み

一般曹候補生は、陸・海・空により教育期間は異なりますが、入隊後自衛官としての基礎教育、専門技能の教育を受けた後、部隊に配属され、部隊勤務と曹候補生の課程を経て、3曹に昇任します。

陸・海・空別の教育期間および課程の名称

陸		海	空
入隊		入隊	入隊
約3ヶ月		約5ヶ月	約4ヶ月
前期教育		一般海曹候補生課程	基礎課程
約3ヶ月	約1年6ヶ月以上	約3ヶ月～1年	約3ヶ月～1年
後期教育	部隊勤務	海士課程 / 術科学校 (部隊勤務等)	術科教育 (部隊勤務等)
約6ヶ月		約3ヶ月	約3ヶ月
陸曹候補生課程		海曹予定者課程	空曹予定者課程



入隊式 (陸自)



入隊式 (海自)



終了証書授与 (空自)

一般曹候補生の陸・海・空曹へ至るステップ



入隊式後の一幕 (陸自)



体力検定 (陸自)



銃の分解結合 (陸自)



短艇教務 (海自)



射撃訓練 (海自)



基本教練 (空自)



銃剣道 (空自)



戦闘行動基礎 (空自)